

九州の畜産



○ 国内産畜産物の消費拡大にご協力を！

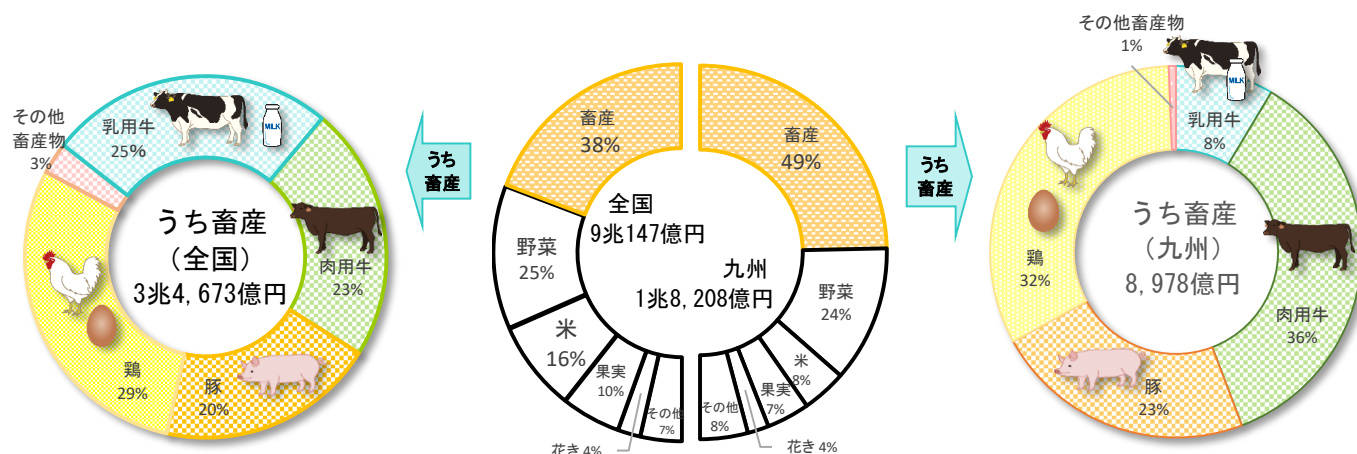
令和6年10月版
農林水産省
九州農政局 生産部 畜産課

九州の畜産 目次

1 畜産の位置付け	
1. 九州の農業産出額と畜産の占める割合(令和4年)	1
2. 都道府県別・市町村別の畜産産出額トップ10	1
3. 畜種別農業産出額の推移(九州)	1
4. 九州各県の農業産出額と畜産の占める割合(令和4年)	2
2 乳用牛	
1. 乳用牛の飼養動向(九州)	4
2. 九州各県の乳用牛飼養の現状(令和6年2月1日現在)	4
3. 九州各県の経産牛飼養頭数(令和6年2月1日現在)	4
4. 生乳生産量及び用途別処理量	5
5. 九州各県の生乳生産量	5
6. 搾乳牛通年換算1頭当たりの収益性(令和4年度・九州)	5
3 肉用牛	
1. 肉用牛の飼養動向(九州)	6
2. 九州各県の肉用牛飼養の現状(令和6年2月1日現在)	6
3. 九州各県の子取り用雌牛飼養頭数(令和6年2月1日現在)	6
4. 肉用子牛の取引価格(九州)	7
5. 肉用牛対象畜毎の1頭当たり収益性(令和4年度・九州)	7
4 豚	
1. 豚の飼養動向(九州)	8
2. 九州各県の豚飼養の現状(令和6年2月1日現在)	8
3. 肥育豚1頭当たりの収益性(令和4年度・九州)	8
5 ブロイラー	
1. ブロイラーの飼養動向(九州)	9
2. 九州各県のブロイラー飼養の現状(令和6年2月1日現在)	9
6 採卵鶏	
1. 採卵鶏の飼養動向(九州)	9
2. 九州各県の採卵鶏飼養の現状(令和6年2月1日現在)	9
7 配合飼料	
1. 配合飼料生産の推移(九州)	10
2. 配合飼料工場渡価格の推移[バラ及び袋物の全畜種加重平均価格・税込](全国)	10
8 粗飼料	
1. 飼料作物の作付面積の推移(九州)	10
2. 飼料作物作付の現状(令和5年産・九州)	10
3. 飼料用米作付面積の推移(九州)	11
4. 稲発酵粗飼料の作付面積の推移(九州)	11
5. 稲わらの利用量の推移(九州)	11
6. 畜産農家における飼料用稲わらの産地別利用量(令和4年産・九州)	11
7. 放牧面積の推移(九州)	12
8. 放牧頭数の推移(九州)	12
9. コントラクター組織数及びTMRセンター施設数の推移(九州)	12
9 畜産環境	
1. 家畜排せつ物法への対応状況(令和5年12月1日現在・九州)	13
(1)管理基準適用対象農家戸数	13
(2)畜種別構造設備基準への適合状況	13
2. 畜産経営に起因する苦情発生状況(令和5年・九州)	13
(1)苦情発生戸数推移	13
(2)畜種別苦情発生状況	13
(3)苦情内容の内訳	13
10 畜産における農業生産工程管理(GAP)について	
JGAP畜産認証取得経営体数及び一覧	14
11 家畜衛生	
1. 主な家畜伝染病の発生状況(令和5年1月～12月)	15
2. 届出伝染病の発生状況(令和5年1月～12月)	15

1 畜産の位置付け

1. 九州の農業産出額と畜産の占める割合（令和4年）



資料：農林水産省 「令和4年農業産出額」

2. 都道府県別・市町村別の畜産産出額トップ10

都道府県別の畜産産出額トップ10（令和4年）

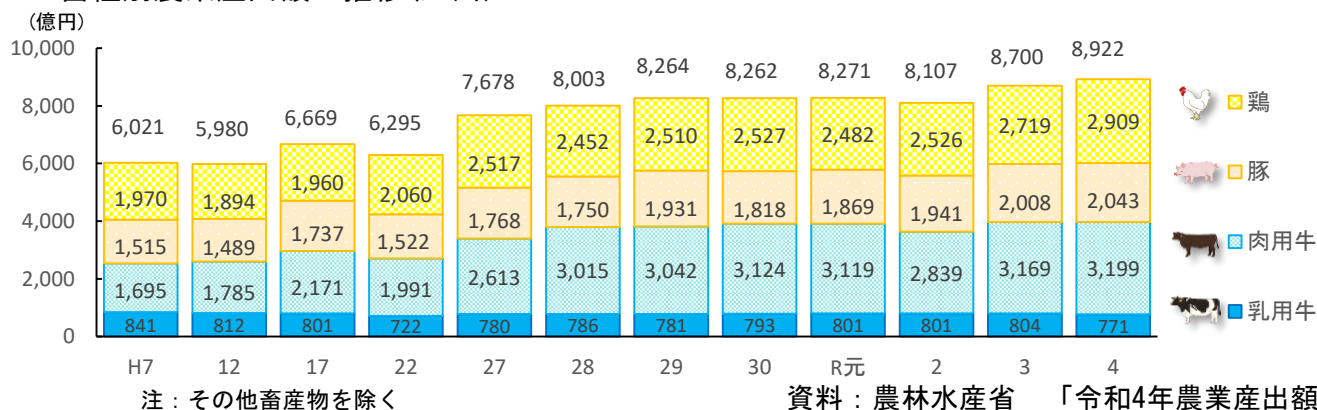
全国順位	都道府県	農業産出額 (うち畜産)
1位	北海道	7,535
2位	鹿児島	3,473
3位	宮崎	2,349
4位	岩手	1,714
5位	茨城	1,340
6位	熊本	1,323
7位	栃木	1,262
8位	千葉	1,226
9位	群馬	1,215
10位	青森	979

市町村別の畜産産出額トップ10（令和4年）

全国順位	都道府県	市町村	農業産出額 (うち畜産)
1位	宮崎	都城市	7,781
2位	北海道	別海町	6,226
3位	鹿児島	曾於市	3,749
4位	栃木	那須塩原市	3,713
5位	鹿児島	鹿屋市	3,448
6位	鹿児島	大崎町	3,327
7位	熊本	菊池市	3,289
8位	千葉	旭市	2,880
9位	鹿児島	出水市	2,801
10位	北海道	標茶町	2,743

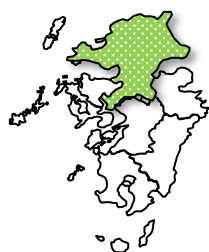
資料：都道府県別・市町村別農業産出額のうち畜産
(肉用牛・乳用牛・豚・鶏・その他畜産物)

3. 畜種別農業産出額の推移(九州)



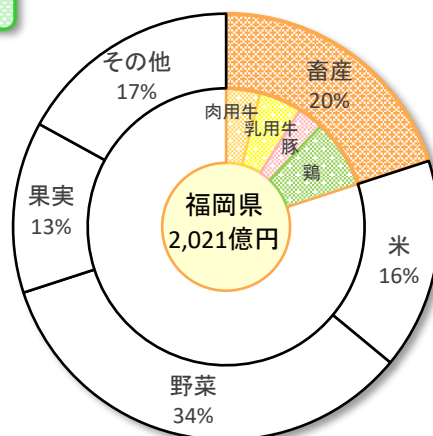
4. 九州各県の農業産出額と畜産の占める割合（令和4年）

福岡県の農業産出額 全国 16位

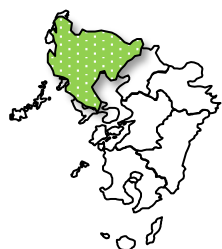


福岡県の農業産出額と品目別ベスト5（単位：億円）

1位	2位	3位	4位	5位
				
米 328	いちご 242	鶏卵 111	ぶどう 100	肉用牛 83

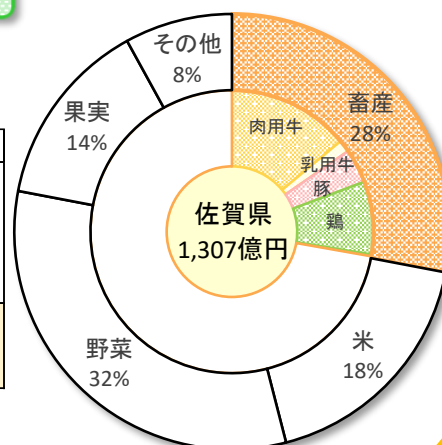


佐賀県の農業産出額 全国 24位

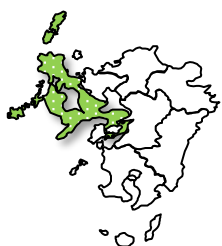


佐賀県の農業産出額と品目別ベスト5（単位：億円）

1位	2位	3位	4位	5位
				
米 229	肉用牛 182	たまねぎ 172	みかん 123	ブロイラー 96

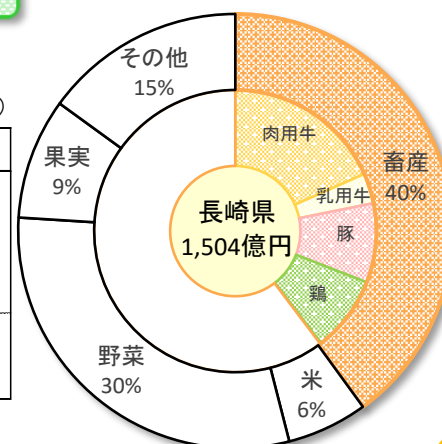


長崎県の農業産出額 全国 23位

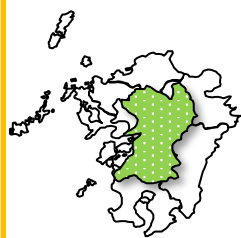


長崎県の農業産出額と品目別ベスト5（単位：億円）

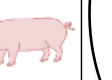
1位	2位	3位	4位	5位
				
肉用牛 275	豚 136	いちご 127	ばれいしょ 103	みかん 95

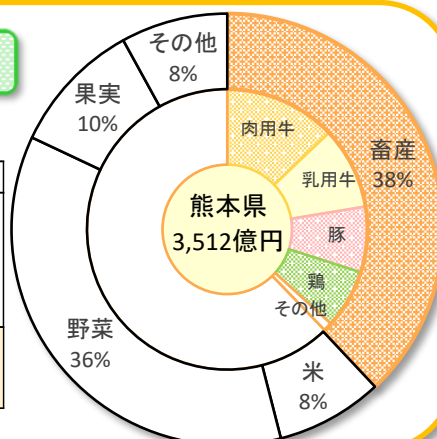


熊本県の農業産出額 全国 5位

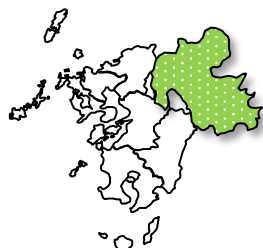


熊本県の農業産出額と品目別ベスト5 (単位:億円)

1位	2位	3位	4位	5位
				
肉用牛 452	トマト 376	生乳 299	米 277	豚 265

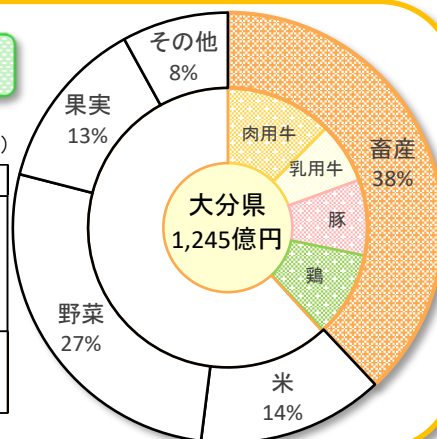


大分県の農業産出額 全国 26位



大分県の農業産出額と品目別ベスト5 (単位:億円)

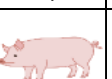
1位	2位	3位	4位	5位
				
米 172	肉用牛 153	豚 108	生乳 81	ねぎ 81

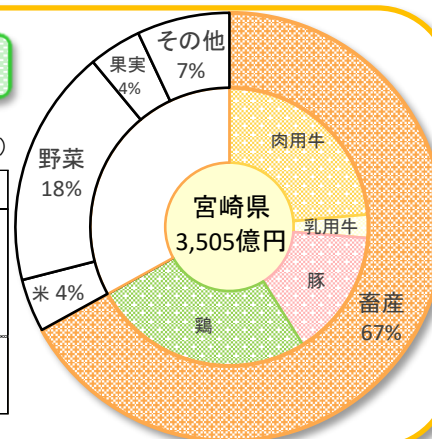


宮崎県の農業産出額 全国 6位

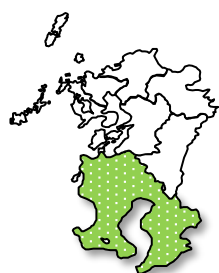


宮崎県の農業産出額と品目別ベスト5 (単位:億円)

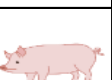
1位	2位	3位	4位	5位
				
肉用牛 826	ブロイラー 762	豚 520	きゅうり 163	米 142

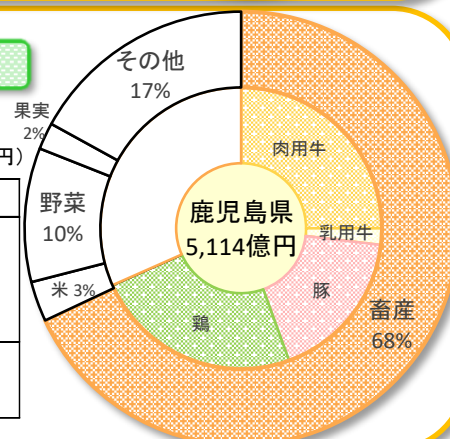


鹿児島県の農業産出額 全国 2位



鹿児島県の農業産出額と品目別ベスト5 (単位:億円)

1位	2位	3位	4位	5位
				
肉用牛 1,228	豚 909	ブロイラー 889	鶏卵 316	米 169

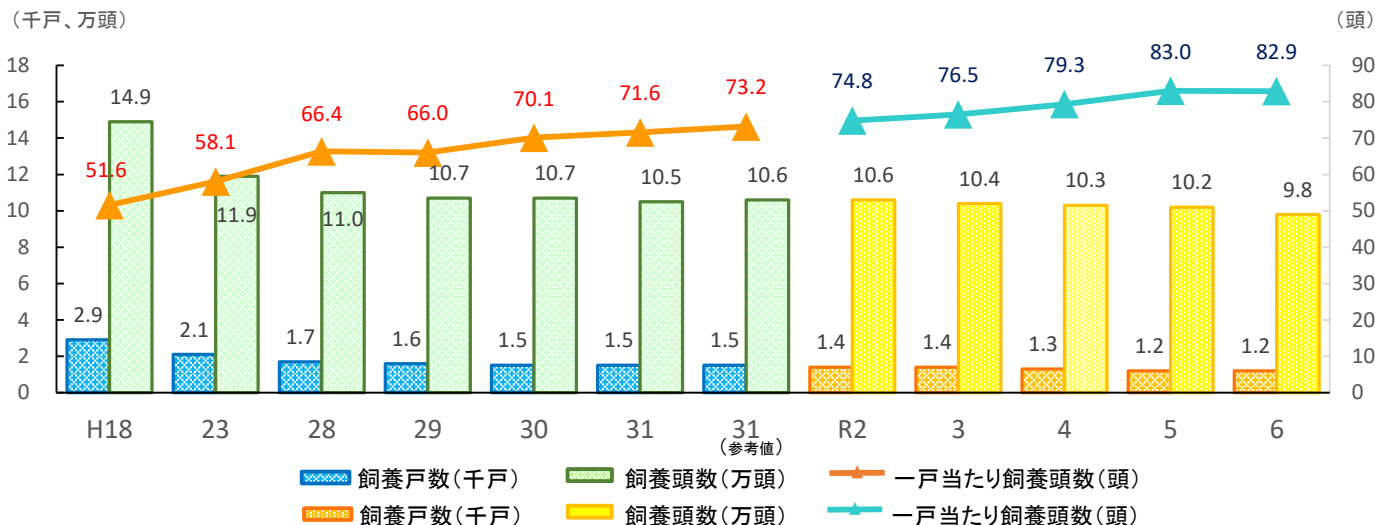


参考資料：「農林水産省 農業産出額」

2 乳用牛



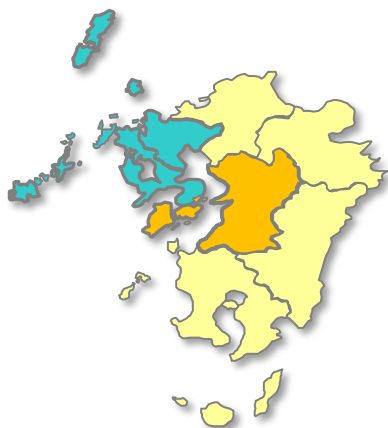
1. 乳用牛の飼養動向（九州）



注：令和2年から統計手法が変更されたため、令和2年の統計手法を用いて集計した平成31年の数値を参考値として記載。

資料：農林水産省「畜産統計」

2. 九州各県の乳用牛飼養の現状(令和6年2月1日現在)



	飼養戸数(戸)	飼養頭数(頭)	飼養頭数の全国順位
全 国	11,900	1,313,000	—
九 州	1,180	97,800	—
(九州/全国)	(9.9%)	(7.4%)	—
福 岡	154	10,100	20
佐 賀	32	1,830	43
長 崎	110	5,620	26
熊 本	457	43,000	3
大 分	94	12,300	15
宮 崎	200	13,000	13
鹿児島	131	12,000	16

飼養頭数 ~1万頭 1万～3万 3万～

資料：農林水産省「畜産統計」

3. 九州各県の経産牛飼養頭数(令和6年2月1日現在)

単位：千頭、頭(1戸当たり頭数)

	H30	31	31(参考値) ※注	R2	3	4	5	6	一戸当たり 頭数
全 国	847.2	839.2	840.7	838.9	849.3	861.7	836.6	826.2	69.4
九 州	74.6	71.0	74.9	73.4	73.1	72.7	69.7	68.8	58.3
(九州/全国)	(8.8%)	(8.5%)	(8.9%)	(8.7%)	(8.6%)	(8.4%)	(8.3%)	(8.3%)	—
福 岡	9.0	8.6		8.6	8.3	8.4	7.3	7.1	46.0
佐 賀	1.8	1.6		1.8	1.6	1.7	1.5	1.4	45.0
長 崎	6.1	5.4		5.5	5.4	5.3	4.9	4.6	41.9
熊 本	29.6	28.7		30.2	30.3	30.4	29.7	30.2	66.1
大 分	8.0	7.5		8.2	8.0	8.0	8.0	7.8	82.5
宮 崎	9.8	9.4		9.7	9.8	9.7	9.3	9.2	45.8
鹿児島	10.4	9.9		9.4	9.6	9.3	8.9	8.5	65.1

資料：農林水産省「畜産統計」

注：令和2年から統計手法が変更されたため、令和2年の統計手法を用いて集計した平成31年の数値を参考値として記載。

4. 生乳生産量及び用途別処理量

単位：千ト、%

区分	H30	31・R元	2	3	4	5	6(1-5月)
生乳生産量	7,289	7,314	7,438	7,591	7,617	7,299	3,156
(対前年増減率)	(0.2)	(0.3)	(1.7)	(2.0)	(0.3)	(▲4.4)	(1.4)
九州	627	615	621	633	617	582	257
(対前年増減率)	(0.2)	(▲2.0)	(1.1)	(1.9)	(▲2.5)	(▲6.0)	(0.0)
牛乳等向け処理量	4,000	4,000	4,019	4,000	3,977	3,850	1,558
(対前年増減率)	(0.3)	(▲0.0)	(0.5)	(▲0.5)	(▲0.6)	(▲3.3)	(▲1.2)
九州	421	427	438	411	428	415	166
(対前年増減率)	(1.8)	(1.3)	(2.6)	(▲6.6)	(4.1)	(▲3.1)	(▲3.6)
乳製品向け処理量	3,243	3,270	3,374	3,543	3,594	3,402	1,577
(対前年増減率)	(0.1)	(0.8)	(3.1)	(4.8)	(1.4)	(▲5.6)	(3.9)
九州	102	98	106	106	102	93	59
(対前年増減率)	(▲2.7)	(▲4.7)	(8.0)	(0.2)	(▲3.8)	(▲9.7)	(15.3)

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

5. 九州各県の生乳生産量

単位：千ト、%

区分	H30	31・R元	2	3	4	5	6(1-5月)	(対前年増減率)
全国	7,289	7,314	7,438	7,591	7,617	7,299	3,156	(1.4)
九州	627	615	621	633	617	582	257	(0.0)
(九州/全国)	(8.6%)	(8.4%)	(8.3%)	(8.3%)	(8.1%)	(8.0%)	(8.1%)	
福岡	77	76	74	73	68	61	27	(0.0)
佐賀	15	14	14	14	14	12	5	(0.0)
長崎	48	46	46	45	42	40	17	(▲5.9)
熊本	251	253	259	267	266	256	114	(1.8)
大分	71	69	71	72	70	68	30	(0.0)
宮崎	79	78	79	83	80	76	33	(0.0)
鹿児島	85	79	78	78	77	70	30	(▲6.7)

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

6. 搾乳牛通年換算1頭当たりの収益性(令和4年度・九州)

単位：円

粗収益 ①	生産物(生乳)		副産物価額 (円)	費用計② (内訳は以下の③~⑤参照)	所得 ①-②
	実搾乳量(kg)	価額(円)			
1,179,723	9,148	1,043,627	136,096	940,828	238,895

物財費 ③								雇用 労働費 ④	支払い利子 ・地代 ⑤
	飼料費	光熱水料 及び動力費	獣医師料及 び医薬品費	貸借料 及び料金	乳牛 償却費	農機具費	その他 物財費		
894,926	582,744	36,330	22,474	15,403	116,305	44,230	77,440	38,633	7,269

注1：副産物価額＝きゅう肥の販売価額及び自家仕向け分の評価額や、子牛の生後10日齢時点の市価評価額等。

注2：調査期間＝令和4年4月から令和5年3月までの1年間。

資料：農林水産省「牛乳生産費」

《参考》所得の計算式

畜産物生産費結果より以下の計算式によって求めた。(以下、肉用牛、肥育豚の所得計算とも共通)

粗収益(主産物+副産物価額の合計)－[生産費総額－(家族労働費+自己資本利子+自作地地代)]

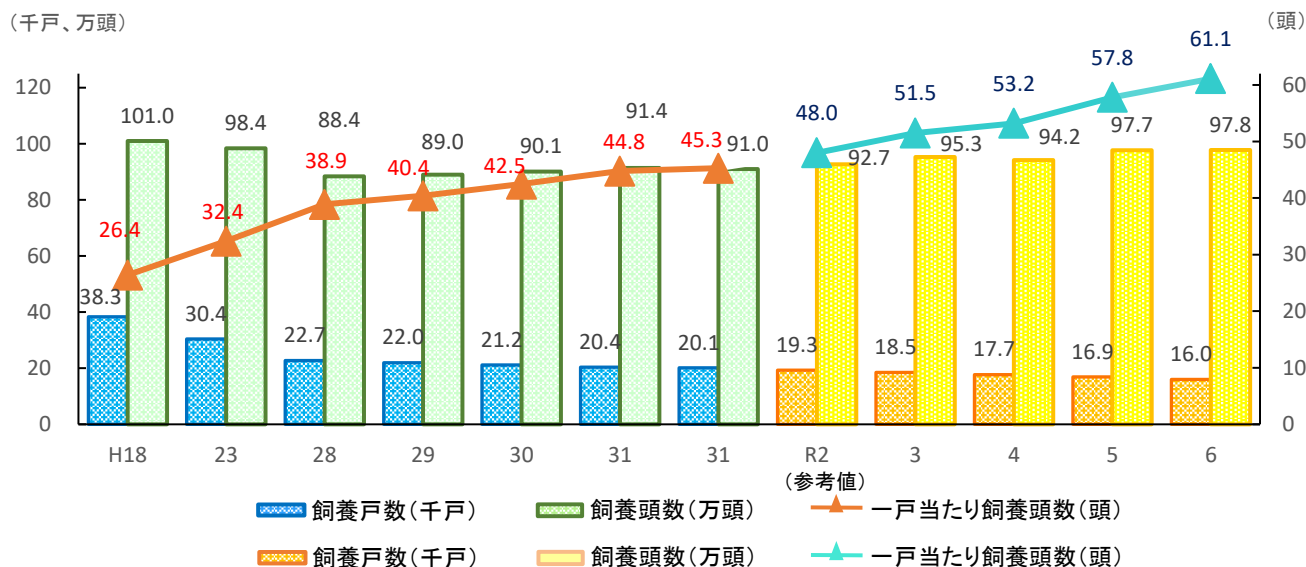
※ただし生産費総額＝費用合計+支払利子+支払地代+自己資本利子+自作地地代

注：所得には配合飼料価格安定基金や、各種補給金等の補助金は含まない。

3 肉用牛



1. 肉用牛の飼養動向（九州）



注：令和2年から統計手法が変更されたため、令和2年の統計手法を用いて集計した平成31年の数値を参考値として記載。

資料：農林水産省「畜産統計」

2. 九州各県の肉用牛飼養の現状(令和6年2月1日現在)



	飼養戸数(戸)	飼養頭数(頭)	飼養頭数の全国順位
全 国	36,500	2,672,000	—
九 州	16,000	978,200	—
(九州/全国)	(43.8%)	(36.6%)	—
福 岡	162	23,200	25
佐 賀	508	52,200	15
長 崎	1,980	93,500	5
熊 本	2,020	134,000	4
大 分	964	54,400	13
宮 崎	4,390	258,200	3
鹿児島	5,980	362,700	2

飼養頭数 ■ ~5万頭 ■ 5万~10万 ■ 10万~20万 ■ 20万~30万 ■ 30万~

資料：農林水産省「畜産統計」

3. 九州各県の子取り用雌牛飼養頭数(令和6年2月1日現在)

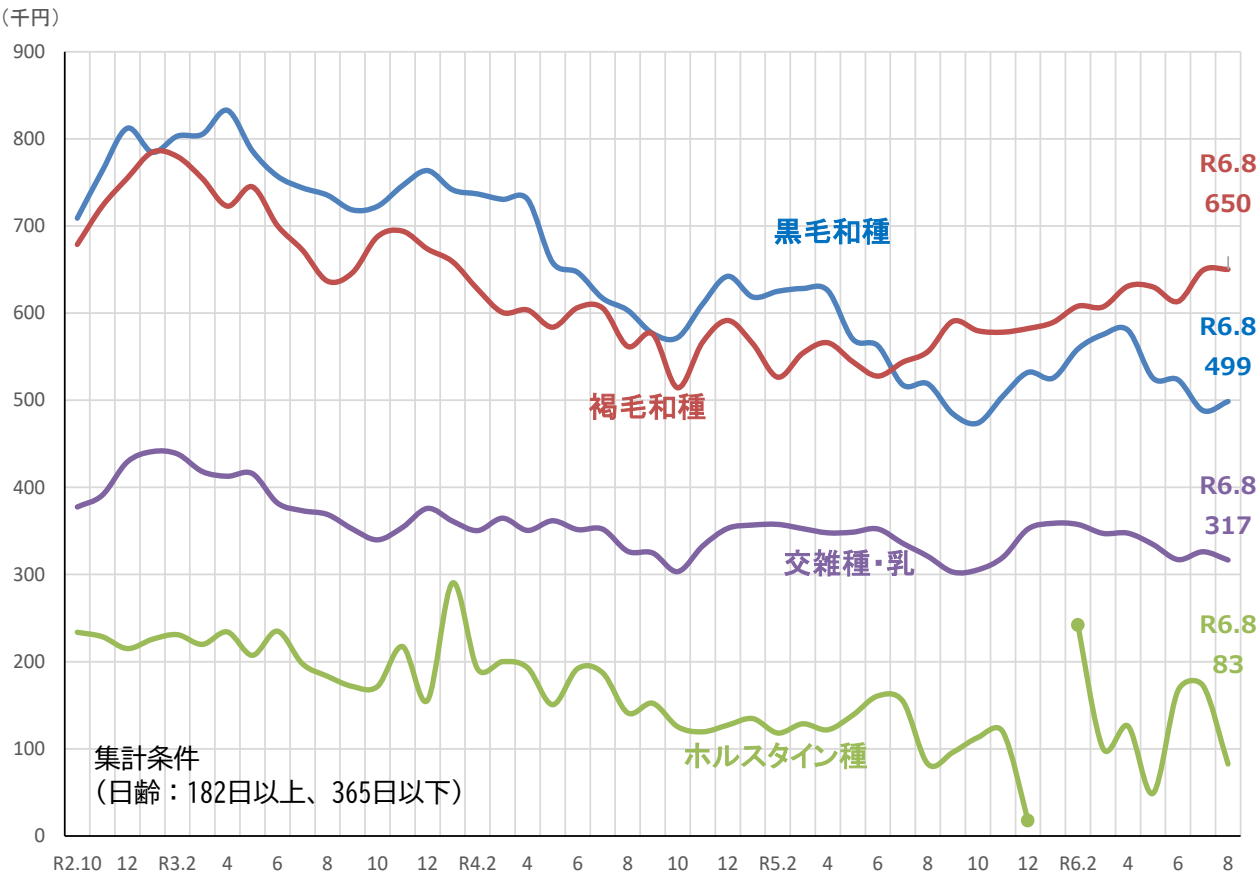
単位：千頭、頭(1戸当たり頭数)

	H30	31	31(参考値) ※注	R2	3	4	5	6	一戸当たり 頭数
全 国	610.4	625.9	605.3	622.0	632.8	636.8	645.2	640.4	17.5
九 州	295.0	304.9	287.9	297.2	304.3	306.4	312.9	314.6	19.7
(九州/全国)	(48.3%)	(48.7%)	(47.6%)	(47.8%)	(48.1%)	(48.1%)	(48.5%)	(49.1%)	—
福 岡	2.4	2.4		2.9	2.9	3.0	2.9	2.9	17.7
佐 賀	9.2	10.1		9.7	9.9	10.0	10.1	10.0	19.6
長 崎	29.1	29.4		29.3	30.6	30.6	30.9	31.0	15.7
熊 本	37.1	37.7		39.6	41.2	42.0	43.7	44.1	21.8
大 分	16.8	17.3		17.2	17.4	17.7	18.1	18.9	19.6
宮 崎	83.2	85.7		82.9	83.8	85.2	86.0	84.6	19.3
鹿児島	117.1	122.2		115.6	118.6	117.8	121.2	123.1	20.6

資料：農林水産省「畜産統計」

注：令和2年から統計手法が変更されたため、令和2年の統計手法を用いて集計した平成31年の数値を参考値として記載。

4. 肉用子牛の取引価格（九州）



注：ホルスタイン種の令和6年1月は取引なし。
注：令和6年5月以降は速報数値を掲載。

資料：農畜産業振興機構「肉用子牛取引情報」

5. 肉用牛対象畜毎の1頭当たり収益性(令和4年度・九州)

単位：円

	粗収益 ①	主産物(1頭あたり)		副産物価額(円) ※	費用計 ② (内訳は以下の③～⑤参照)	所得 ①－②
		販売時生体重(kg)	価額(円)			
子牛生産費(肉専用種)	660,821	288.8	639,040	21,781	564,326	96,495
去勢若齢肥育牛生産費	1,365,232	803.1	1,358,029	7,203	1,376,032	△10,800
乳おす肥育牛生産費	565,387	782.8	562,463	2,924	715,376	△149,989
交雑種育成牛生産費	340,245	304.4	337,468	2,777	362,800	△22,555

	物財費 ③	種付料	もと畜費	飼料費	獣医師料 及び医薬品費	繁殖めす 償却費	その他 物財費	雇用 労働費 ④	支払利子 ・地代 ⑤
子牛生産費(肉専用種)	535,499	20,381	-	320,214	26,628	76,047	92,229	18,249	10,578
去勢若齢肥育牛生産費	1,351,261	-	814,416	455,433	10,213	-	71,199	15,269	9,502
乳おす肥育牛生産費	706,752	-	286,547	375,521	4,286	-	40,398	1,968	6,656
交雑種育成牛生産費	358,783	-	231,306	106,979	4,804	-	15,694	1,921	2,096

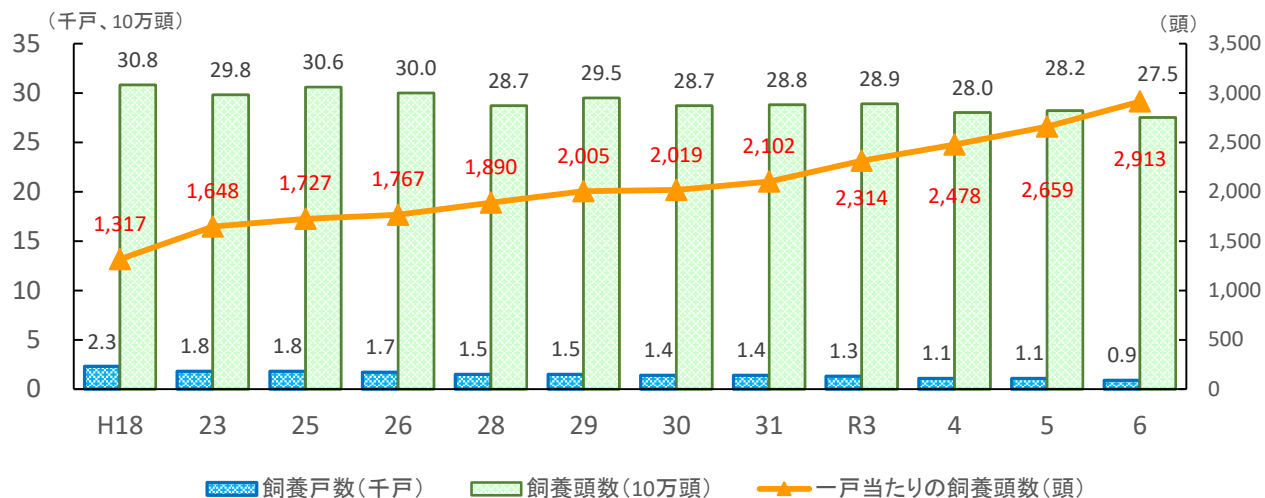
注1：副産物価額＝きゅう肥の販売価額及び自家仕向け分の評価額等。
注2：調査期間＝令和4年4月から令和5年3月までの1年間。

資料：農林水産省「肉用牛生産費」

4 豚



1. 豚の飼養動向（九州）



注：平成22年、27年、令和2年は農林業センサス実施年のため調査休止。

資料：農林水産省「畜産統計」

2. 九州各県の豚飼養の現状(令和6年2月1日現在)



	飼養戸数	飼養頭数	飼養頭数の 全国順位
全 国	3,130	8,798,000	-
九 州	945	2,753,000	-
(九州／全国)	(30.2%)	(31.3%)	-
福 岡	39	79,800	25
佐 賀	28	69,500	27
長 崎	67	181,200	15
熊 本	126	347,900	8
大 分	37	153,200	18
宮 崎	261	721,900	3
鹿児島	387	1,200,000	1

飼養頭数 〇 ～10万頭 〇 10万～20万 〇 20万～50万 〇 50万～100万 〇 100万～

資料：農林水産省「畜産統計」

3. 肥育豚1頭当たりの収益性（令和4年度・九州）

粗収益 ①	生産物		副産物価額（円） ※	費用計 ② （内訳は以下の③～⑤参照）				所得 ①－②	
	販売時生体重(kg)	販売価格(円)							
41,394	114.0	40,580	814	40,314				1,080	

物財費 ③								雇用 労働費 ④	支払い利子・地代 ⑤
	飼料費	獣医師料及び医薬品費	建物費	光熱水料及び動力費	農機具費	繁殖めす豚費	その他物財費		
38,766	30,078	1,914	1,463	2,073	813	782	1,643	1,401	147

注1：副産物価額＝きゅう肥の販売価額及び自家仕向け分の評価額、繁殖めす豚の販売価額等。

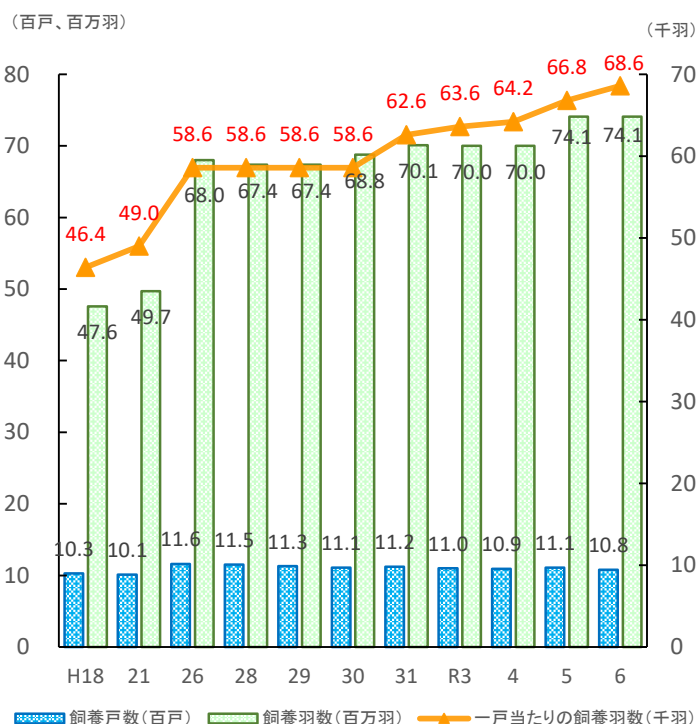
注2：調査期間＝令和4年4月から令和5年3月までの1年間。

資料：農林水産省「肥育豚生産費」

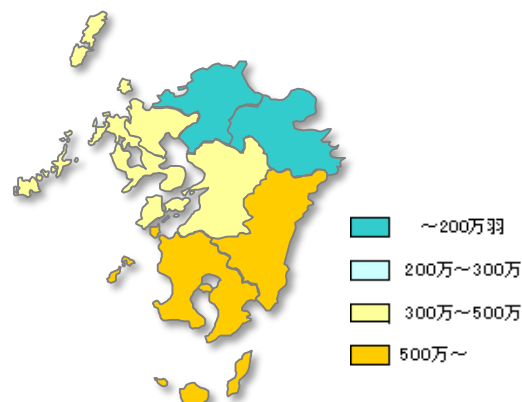
5 ブロイラー



1. ブロイラーの飼養動向（九州）



2. 九州各県のブロイラー飼養の現状 (令和6年2月1日現在)



	飼養戸数(戸)	飼養羽数(千羽)	飼養羽数の全国順位
全 国	2,050	144,859	-
九 州	1,080	74,080	-
(九州/全国)	(52.7%)	(51.1%)	-
福 岡	30	1,168	21
佐 賀	62	3,929	6
長 崎	48	3,297	9
熊 本	56	3,746	8
大 分	42	1,782	16
宮 崎	442	28,155	2
鹿児島	402	32,003	1

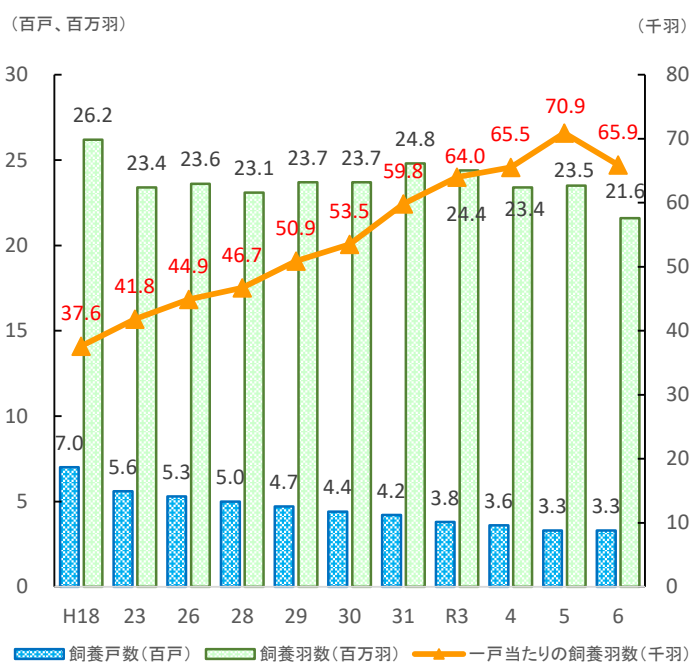
資料：農林水産省「畜産物流通統計」、「畜産統計」

注：平成22～24年までブロイラーの飼養戸数・羽数の調査は中止。25年から再開。平成27年、令和2年は農林業センサス実施年のため調査休止。

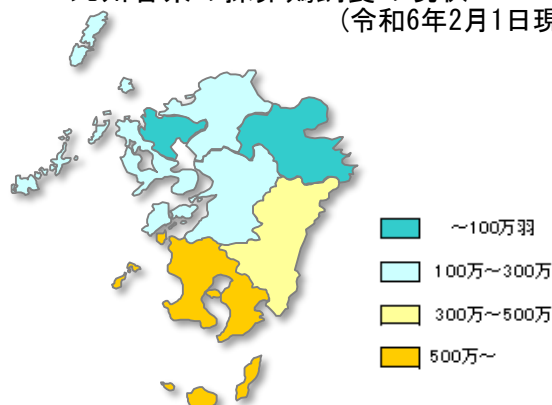
6 採卵鶏



1. 採卵鶏の飼養動向（九州）



2. 九州各県の採卵鶏飼養の現状 (令和6年2月1日現在)



	飼養戸数(戸)	飼養羽数(千羽)	飼養羽数の全国順位
全 国	1,640	168,599	-
九 州	328	21,601	-
(九州/全国)	(20.0%)	(12.8%)	-
福 岡	54	2,852	22
佐 賀	24	251	43
長 崎	51	1,826	26
熊 本	38	2,466	23
大 分	15	912	32
宮 崎	48	3,098	21
鹿児島	98	10,196	3

資料：農林水産省「畜産統計」

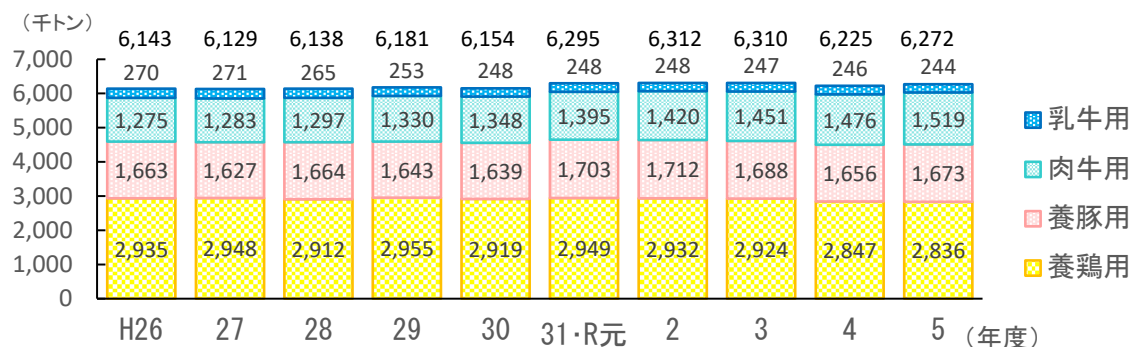
注：平成22年、27年、令和2年は農林業センサス実施年のため調査休止。

注：飼養戸数＝種鶏のみ飼養者を除く戸数。
羽数＝種鶏を除く羽数。

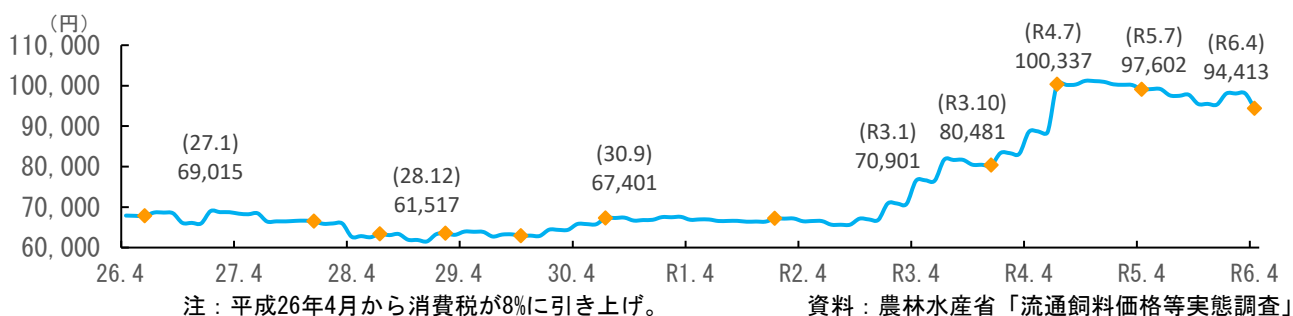
7 配合飼料



1. 配合飼料生産の推移（九州）



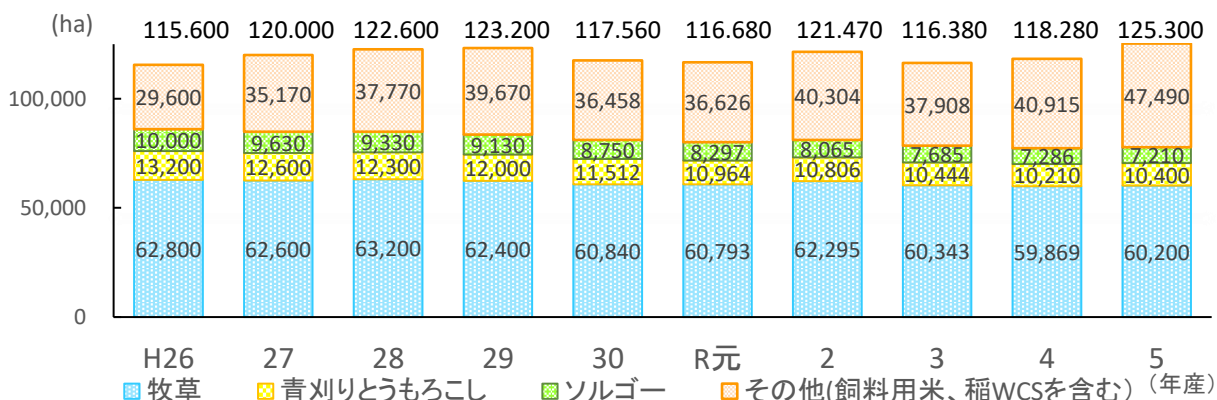
2. 配合飼料工場渡価格の推移〔バラ及び袋物の全畜種加重平均価格・税込〕（全国）



8 粗飼料



1. 飼料作物の作付面積の推移（九州）



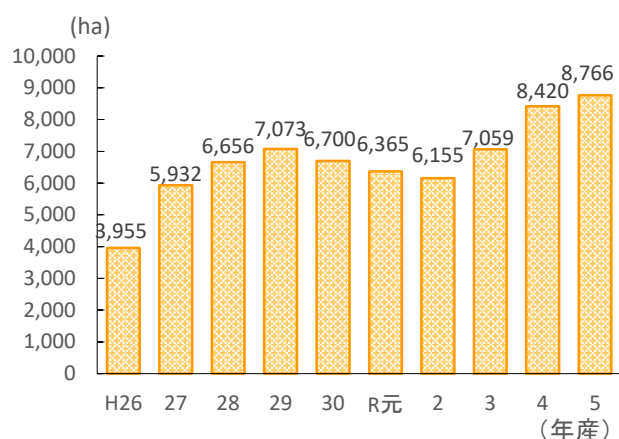
資料：農林水産省「作物統計」
(ha)

2. 飼料作物作付の現状（令和5年産・九州）

	計	牧草	青刈りとうもろこし	ソルゴー	その他
全 国	1,018,000	705,200	97,200	11,700	203,900
九 州	125,300	60,200	10,400	7,210	47,490
(九州／全国)	(12.3%)	(8.5%)	(10.7%)	(61.6%)	(23.3%)
福 岡	6,370	1,490	108	138	4,634
佐 賀	4,420	908	12	313	3,187
長 崎	11,400	5,880	427	2,030	3,063
熊 本	29,000	13,500	3,300	618	11,582
大 分	11,200	5,090	578	676	4,856
宮 崎	33,100	15,300	4,480	2,200	11,120
鹿児島	29,900	18,000	1,520	1,240	9,140

資料：農林水産省「作物統計」

3. 飼料用米作付面積の推移(九州)

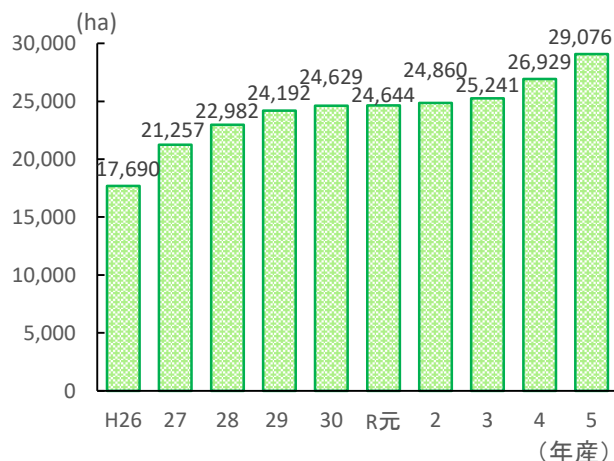


(単位: ha)

	H25	R元	2	3	4	5
全 国	21,802	72,509	70,883	115,744	142,055	133,925
九 州	3,086	6,365	6,155	7,059	8,420	8,766
(九州/全国)	(14.2%)	(8.8%)	(8.7%)	(6.1%)	(5.9%)	(6.5%)
福 岡	811	1,969	1,886	2,192	2,482	2,475
佐 賀	226	558	603	730	821	829
長 崎	112	128	111	112	121	117
熊 本	766	1,175	1,135	1,295	1,672	1,646
大 分	734	1,362	1,355	1,565	1,802	1,932
宮 崎	199	431	412	486	687	887
鹿児島	238	742	653	679	835	880

資料：新規需要米の取組計画認定状況

4. 稲発酵粗飼料の作付面積の推移(九州)

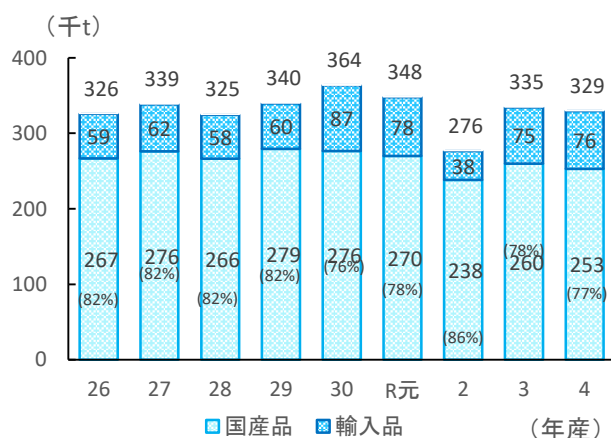


(単位: ha)

	H25	R元	2	3	4	5
全 国	26,600	42,450	42,791	44,248	48,404	53,055
九 州	15,018	24,644	24,860	25,241	26,929	29,076
(九州/全国)	(56.5%)	(58.1%)	(58.1%)	(57.0%)	(55.6%)	(54.8%)
福 岡	1,049	1,497	1,517	1,657	1,837	2,068
佐 賀	660	1,448	1,523	1,700	2,000	2,246
長 崎	463	1,218	1,244	1,307	1,384	1,549
熊 本	5,078	7,757	7,852	7,994	8,519	9,167
大 分	1,460	2,458	2,526	2,432	2,589	2,758
宮 崎	4,533	6,625	6,656	6,700	6,933	7,207
鹿児島	1,775	3,641	3,542	3,451	3,667	4,081

資料：新規需要米の取組計画認定状況

5. 稲わらの利用量の推移(九州)



6. 畜産農家における飼料用稲わらの産地別利用量(令和4年産:九州)

(単位: t)

	計	国産品		輸入品
		県内産	県外産	
九 州	329,361	253,035	13,704	76,326
福 岡	6,487	6,090	764	397
佐 賀	36,310	34,595	0	1,715
長 崎	25,361	21,740	5,647	3,622
熊 本	52,805	50,090	412	2,715
大 分	31,608	31,424	447	184
宮 崎	73,378	60,629	3,426	12,749
鹿児島	103,412	48,468	3,008	54,944

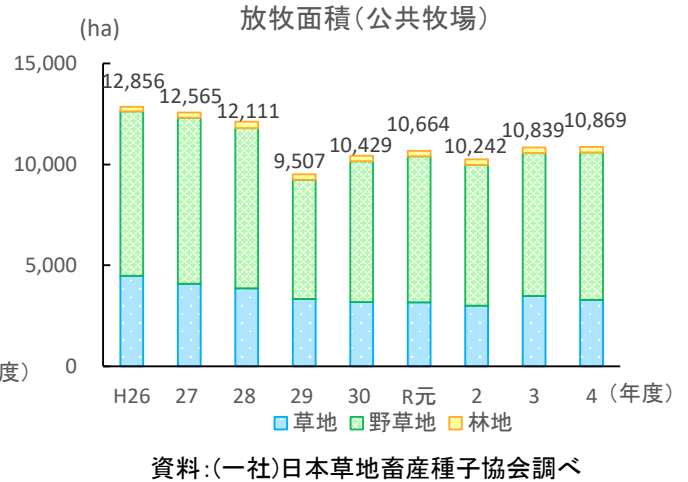
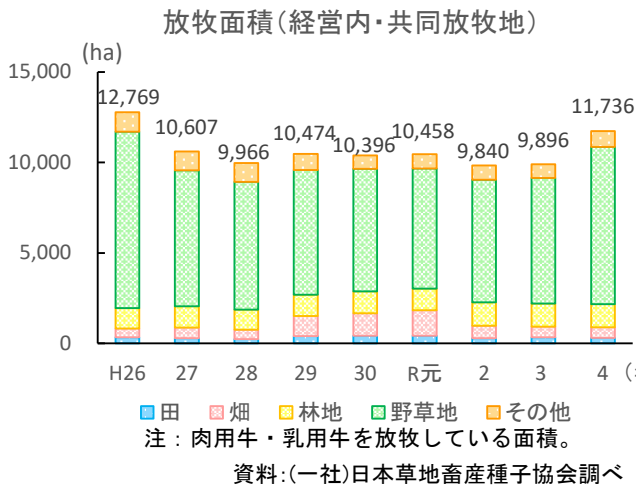
資料：九州農政局畜産課調べ

注1: ()内の数値は、飼料用稲わらの利用量計に対する国産品の割合(%)。

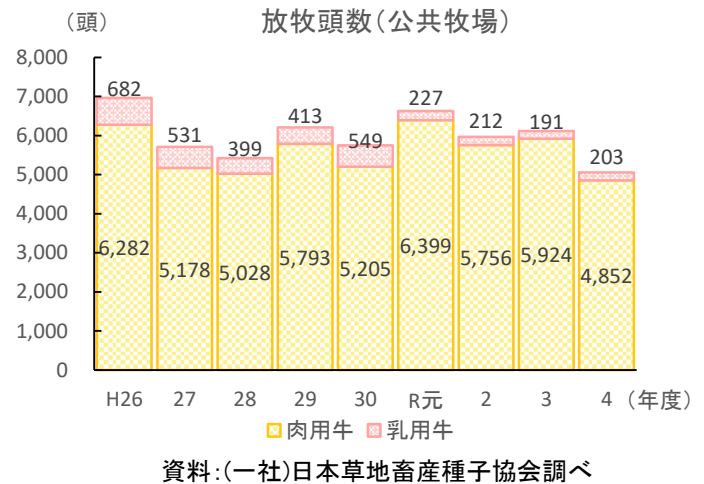
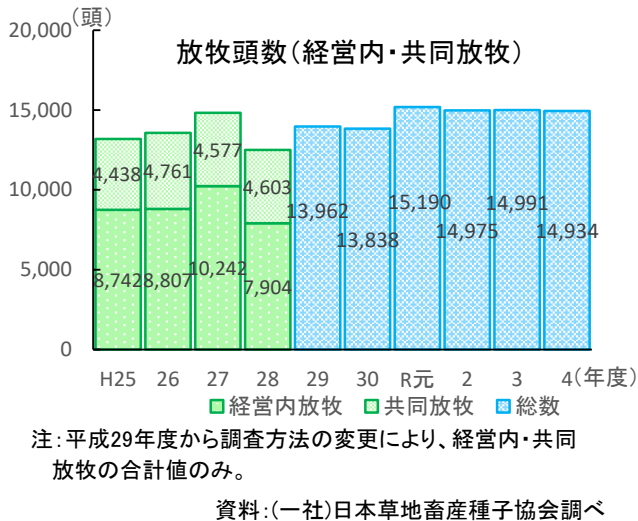
注2: 九州地域における稲わらの総生産量に対する飼料用仕向け割合は約32%(平成29年)。

注3: 平成30年産から、調査内容の変更により、飼料用稲わらの利用量のみの。

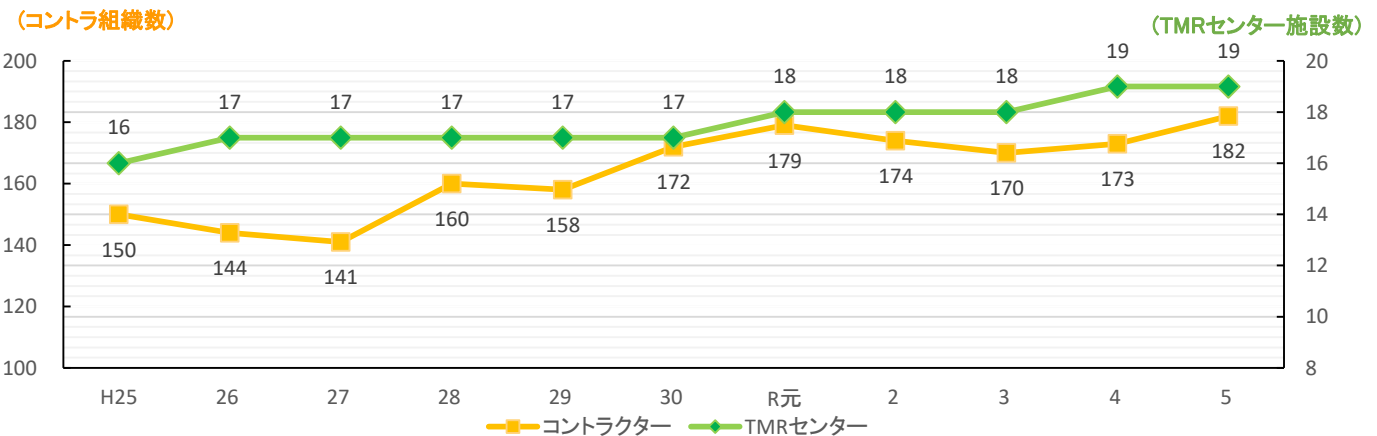
7. 放牧面積の推移（九州）



8. 放牧頭数の推移（九州）



9. コントラクター組織数及びTMRセンター施設数の推移（九州）

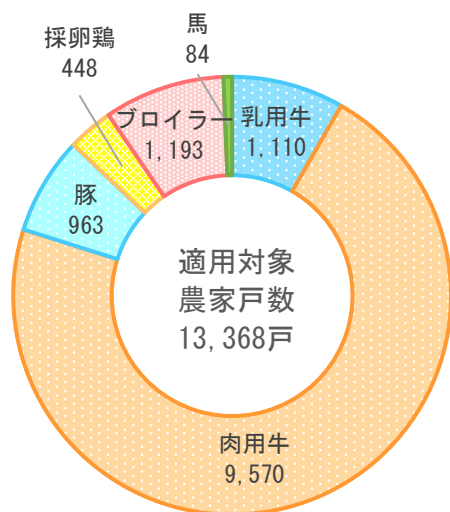


9 畜産環境



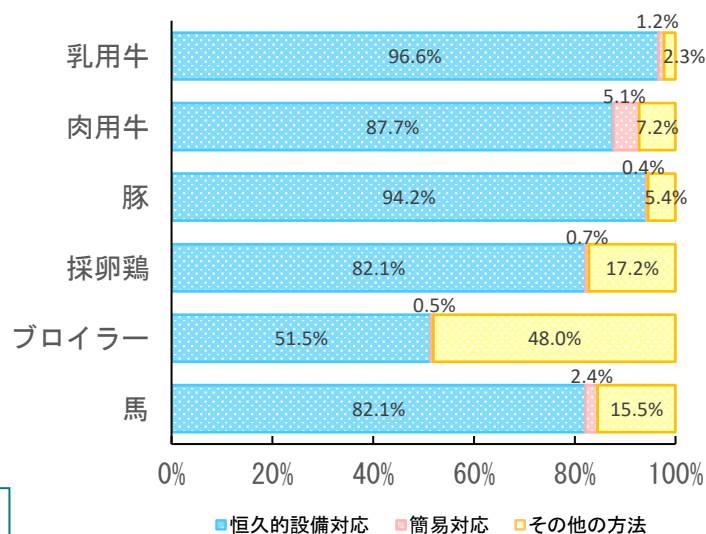
1. 家畜排せつ物法への対応状況(令和5年12月1日現在・九州)

(1) 管理基準適用対象農家戸数



※九州の管理基準適用対象農家戸数は13,701戸
(九州の全畜産農家戸数の58.9%に相当)。
このうち構造設備基準に適合の農家数は13,701戸。

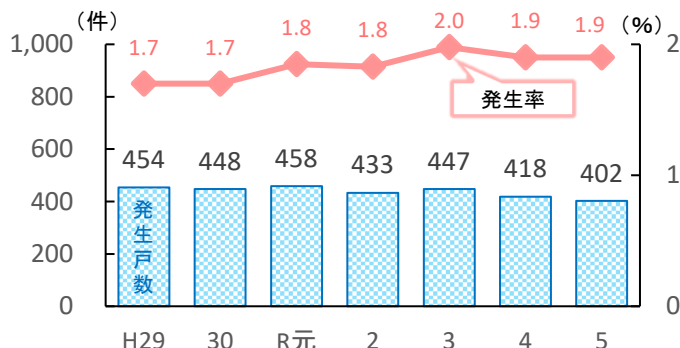
(2) 畜種別構造設備基準への適合状況



資料：農林水産省「家畜排せつ物法施行状況調査」

2. 畜産経営に起因する苦情発生状況(令和5年・九州)

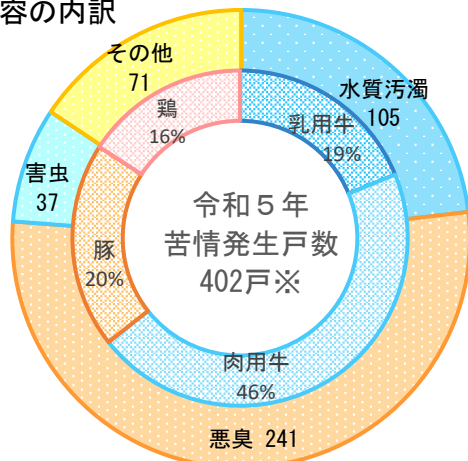
(1) 苦情発生戸数推移



(2) 畜種別苦情発生状況

畜種	飼養戸数	発生戸数	発生率
乳用牛	1,230	75	6.10
肉用牛	16,900	185	1.09
豚	1,060	79	7.45
鶏	1,455	63	4.33

(3) 苦情内容の内訳



※複数種類の苦情を併発しているものは1戸として計上しているため、苦情内容の内訳の合計とは一致しない。

資料：農林水産省「畜産統計(R5.2.1)」、「畜産経営に起因する苦情発生状況調査(前年7.1～調査年6.30)」

10 畜産における農業生産工程管理(GAP)について

畜産におけるGAP(Good Agricultural Practice:農業生産工程管理)とは、農業生産活動の持続性を確保するため、食品安全、家畜衛生、環境保全、労働安全、アニマルウェルフェアに関する法令等を遵守するための点検項目を定め、これらの実施、記録、点検、評価を繰り返しつつ生産工程の管理や改善を行う取組のことです。

J G A P 畜産認証取得経営体数及び一覧

令和5年7月21日現在

畜 種	経営体数		所在地	経営体名称			
	全国	九州					
<乳用牛>	51	1	宮崎	株式会社松浦牧場			
<肉用牛>	85	19	熊本	独立行政法人家畜改良センター 熊本牧場	株式会社矢岳牧場矢岳第2牧場	株式会社高原牧場	株式会社やました牧場
			大分	株式会社スギモトファーム 山香牧場	株式会社スギモトファーム 久住牧場	大分県立農業大学校(乳用牛を含む)	
			宮崎	安楽畜産株式会社 永野牧場	株式会社スギモトファーム 野尻湖牧場	宮崎大学農学部附属フィールド*科学教育研究センター住吉フィールド*(牧場)(豚を含む)	宮崎県立農業大学校(乳用牛を含む)
				有限会社アグテック	株式会社ナニワランチ マミー牧場		独立行政法人家畜改良センター宮崎牧場
			鹿児島	農業生産法人みらいファーム株式会社 志布志直営農場	鹿児島県立農業大学校 畜産学部(乳用牛・豚を含む)	有限会社前田農場 鹿児島県経済連 田代肥育牛センター	株式会社尾崎牧場
<養 豚>	54	5	宮崎	有限会社エムケイ商事 崎山農場(肥育)			
			鹿児島	南州農場株式会社 佐多農場	南州農場株式会社 AIセンター	南州農場株式会社 根占農場	有限会社飯屋ファーム
<養鶏(採卵)>	51	9	福岡	J R九州ファーム株式会社 飯塚事業所			
			熊本	トップ卵ファーム株式会社 合志農場	トップ卵ファーム株式会社 美里農場		
			宮崎	フュージョン株式会社 本社第1,2農場	フュージョン株式会社 新富農場	新富エッグシステム株式会社 18農場	
			鹿児島	南九州エッグシステム株式会社 畠ヶ山農場	南九州エッグシステム株式会社 末吉農場	鹿児島県立 鹿屋農業高等学校	
<養鶏(肉用)>	32	1	鹿児島	鹿児島くみあいチキンフーズ株式会社 福山モデル農場			
合 計	273	35					

経営体によっては複数の畜種で認証取得しているが、代表的な畜種でカウントしている。

【参考】農場HACCP認証農場数

令和6年7月11日現在

畜種	農場数	
	全国	九州
<乳用牛>	46	1
<肉用牛>	126	8
<乳用牛・肉用牛>	4	1
<養豚>	163	26
<養鶏(採卵)>	103	10
<養鶏(肉用)>	14	4
合計	456	50



11 家畜衛生



1. 主な家畜伝染病の発生状況(令和5年1月～12月)

	単位	全国	九州		単位	全国	九州
流行性脳炎 (牛)	頭	0	0	高病原性鳥インフルエンザ(鶏)	羽	83	12
流行性脳炎 (豚)	頭	4	0	高病原性鳥インフルエンザ(あひる)	羽	4	0
豚熱 (豚)	頭	11	6	高病原性鳥インフルエンザ(うずら)	羽	2	0
豚熱 (いのしし)	頭	0	0	高病原性鳥インフルエンザ(だちょう)	羽	3	2
ヨーネ病 (牛)	頭	1,060	14	高病原性鳥インフルエンザ(ほろほろ鳥)	羽	2	0
ヨーネ病 (めん羊)	頭	9	0	ニューカッスル病 (家きん)	羽	0	0
ヨーネ病 (山羊)	頭	27	0	腐蛆病 (みつばち)	群	56	0
ヨーネ病 (鹿)	頭	0	0	アナプラズマ病 (牛)	頭	0	0
伝達性海綿状脳症 (めん羊)	頭	1	1	ピロプラズマ症(馬)	頭	0	0

資料：農林水産省「家畜伝染病の発生年報」

2. 届出伝染病の発生状況(令和5年1月～12月)

	単位	全国	九州		単位	全国	九州
アカバネ病(胎児感染)(牛)	頭	4	0	豚流行性下痢	頭	127	0
アカバネ病(生後感染)(牛)	頭	10	0	伝染性胃腸炎(豚)	頭	0	0
悪性カタル熱(牛)	頭	1	0	低病原性ニューカッスル病(鶏)	羽	0	0
牛ウイルス性下痢(牛)	頭	172	7	馬鼻肺炎(馬)	頭	10	0
牛伝染性鼻気管炎(牛)	頭	23	1	馬パラチフス(馬)	頭	0	0
牛伝染性リンパ腫(牛)	頭	4,493	1,508	山羊関節炎・脳炎(山羊)	頭	6	0
牛丘疹性口内炎(牛)	頭	3	1	鶏伝染性喉頭気管炎(鶏)	羽	43	0
破傷風(牛)	頭	112	70	鶏痘(鶏)	羽	20	4
破傷風(馬)	頭	0	0	マレック病(鶏)	羽	21,106	4
気腫疽(牛)	頭	1	0	鶏伝染性気管支炎(鶏)	羽	136	6
サルモネラ症(牛)	頭	639	4	伝染性ファブリウス嚢病(鶏)	羽	76	14
サルモネラ症(豚)	頭	140	67	鶏白血病(鶏)	羽	5	0
サルモネラ症(鶏)	羽	0	0	鳥マイコプラズマ症(鶏)	羽	13	3
ネオスポラ症(牛)	頭	3	1	ロイコチトゾーン病(鶏)	羽	78	2
レプトスピラ症(牛)	頭	0	0	鶏結核病(鶏)	羽	0	0
レプトスピラ症(犬)	頭	30	3	兎出血病(兎)	羽	0	0
レプトスピラ症(豚)	頭	0	0	ノゼマ症(みつばち)	群	1	0
ブルータング(めん羊)	頭	0	0	バロア症(みつばち)	群	595	154
トキソプラズマ病(豚)	頭	22	0	チョーク病(みつばち)	群	130	0
豚繁殖・呼吸障害症候群(豚)	頭	50	7	アカリンドニ症(みつばち)	群	108	22
豚丹毒(豚)	頭	900	199	伝染性膿疱性皮膚炎(めん羊)	頭	2	0
萎縮性鼻炎(豚)	頭	0	0	トリパノソーマ症(牛)	頭	1	0
豚赤痢(豚)	頭	62	54				

資料：農林水産省「届出伝染病の発生年報」



国産畜産物の 消費拡大にご協力ください！

牛肉をはじめとする国産畜産物の消費が低迷し、
畜産農家の経営が危機に瀕しています。
消費拡大のため、まずは畜産関係者が...

- 会議等で牛乳を飲みましょう！
- 国産食肉・卵等を食べましょう！



九州農政局 生産部 畜産課

〒860-8527 熊本市西区春日2丁目10番1号 熊本地方合同庁舎

代表TEL:096-211-9111 FAX:096-211-9780

